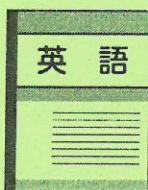
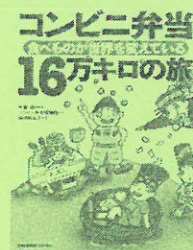


…SDGsに関連すること

3年生の教科書最後は3年間の理科の総まとめといってもよいでしょう。これまでの学びや知識を生かし、新しい科学技術を取り入れながら持続可能な社会をつくるために私たちができることを考えます。その中のP294では先日の授業でもあった「バーチャルウォーター」や「フードマイレージ」についてもかかれています。(日本は食糧自給率が低い→輸入…○○を育てるのにどのくらいたくさんの水が使われているのか)

このことについてとてもわかりやすく書かれたおすすめの本が館内にあります。

「食べ物で世界を変えている コンビニ弁当 16万キロの旅」(太郎次郎社エディダス)
世界の農業が今後どうなるのか、日本の農業、そして私たちの食のありかたも含めてきつと無関心ではいられなくなると思います。



…SDGsに関連すること

2年生 unit5 Universal Design (ユニバーサルデザイン)

3年生 unit3 Fair Trade Event (フェアトレード)

→国語で紹介した「わたし8歳 カカオ畑で働きつづけて」を読んでください。また、カカオ畑で働いている子どものことを絵本にした「そのこ」(晶文社)もぜひ。

3年生 unit5 Living with Robots (ロボットとの暮らし)

→理科では2年生の教科書最後のページに「ロボットの未来」があります。

ここには書ききれませんが、このほかの教科でも勉強します。つまり、少し意識を変えると、学校での全ての学びが繋がっていることに気づくことができますね。日々の勉強がもっと楽しくなってくるのではないのでしょうか。

最後に自分には何ができるか? そんなあなたにはヒントをくれる本を紹介します。

「世界を変えるお金の使い方」(Think Earth Project)

環境保全と社会の様々な問題を解決するためにお金をどのように使えばよいか、100円から数千円のできる社会貢献を紹介しています。例えば、「100円で内モンゴルの砂漠にポプラの苗木が10本」「300円でタイとカンボジア国境付近に埋まっている地雷を1㎡分除去できる」などです。

お金を使うときに少し思い出してほしい…そんな願いを込めました。

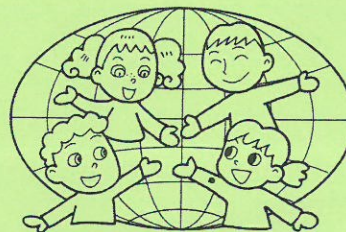
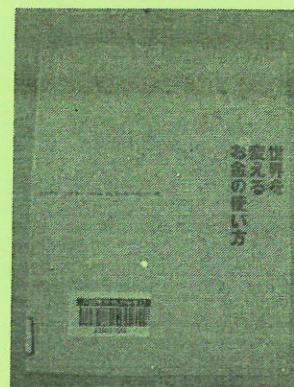
少し難しいかもしれませんが、次のシリーズは詳しく知り、深く考えたい人にはぴったりです。

「人権で世界を変える30の方法」(合同出版)

「世界から貧しさをなくす30の方法」(合同出版)

「世界から飢餓を終わらせるための30の方法」(合同出版)

「おカネで世界を変える30の方法」(合同出版)



多目的室の前にはこの言葉が貼ってあります。

Make the World Better よりよい世界をつくっていこう!

この合い言葉を胸に自分たちで考えた行動を実行していきましょう!